

南高Information

静岡大学の小山真人教授と村越真教授による特別授業が実現!!

6月27日に行われた地学の授業(2年生選択者)において、静岡大学教育学部の小山真人こやま まさと教授と村越真むらこし しん教授をお招きし、富士山に関する様々なお話を伺うとともに、火山防災マップを使って、マップ上に示された情報の読み取り方について実習しました。

テーマは富士山ハザードマップと防災



実習は、与えられた条件(季節は冬、住居は原里地区、火山に関する情報が気象庁から出された、など)のもとで、どのような行動をとればよいかを考えるもの。参加した人たちは、配られた火山防災マップを手がかりに意見交換を行い、行動の順序や避難経路などを真剣に検討していました。

富士山は活火山です。今すぐに噴火するという訳ではありませんが、安心して生活できる今だからこそ、富士山のことをもっと深く正しく理解し、万が一噴火したときの身の守り方などについて考えておくことの大切さを学ぶことができました。

富士山火山防災マップは、小山町、御殿場市、裾野市の各家庭に配られています。

小山先生から…



“昼は雲の柱”(石黒耀著)を読むと火山のことがよく分かります。

皆さん、もしも富士山がなかったとしたら、静岡県の東部地域はどのような姿になっていたと思いますか。きっと、駿河湾は今よりもっと北にあり、海の近くまで山が迫っていて、険しい山や谷が連なる風景が広がっていたでしょう。

富士山が生まれ、噴火を繰り返しながら成長してきたからこそ、広い裾野ができ、麓に観光地や街などがつくられる条件が整った、つまり、火山の恵みが今の私たちの生活をもたらしてくれたのです。

各土地の成り立ち(歴史)を調べてみるといろいろなことが分かります。地形図などを持って地域を散策してみるのも楽しいですよ。

5月に、“天てれ”に出演しました!“地図”ってとても面白いですよ。

街中のあちこちでいろいろな地図を見かけますね。地図はとても便利なものですが、それだけに、地図上の情報をうまく読み取る(地図を十分に使いこなす)ことが必要になります。特に、最近は縮尺の大きな地形図を使う機会が少なくなったので、今日の授業のように、実際に使ってみるというのは、とても貴重な体験だと思います。

皆さんもライフスキルのひとつとして地図をとらえ、地図を使う経験をもっと増やし、そして、上手に地図と付き合えるようになってください。



…村越先生から